

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立北宇和高等学校
学校番号 (47)

評価実施日		平成31年 2月13日 (水)	
委 員	氏 名	所属等	備考
	清家 治	JAえひめ南代表理事専務	
	小出 徳彦	地域代表	
	仁尾 文幸	宇和島警察署鬼北交番所長	
	松浦 秀樹	鬼北町立広見中学校長	
	中山 幸司	北宇和高等学校PTA会長	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方法等	
<p>1 教育全般 生徒は、一人一人状況が異なる。一人一人に目標を立てさせ、紙に書いて教室に掲示するなどしてはどうか。小さな目標から始め、達成感を持たせることも大切ではないか。</p> <p>2 学習指導 分かる授業、伸ばす授業を目指されているようだが自分で考え発表する授業が、月1回くらいあってもよいのでは。特に、歴史に関しては、いろいろ考えることが多いので、そんな授業があればおもしろいのではないか。</p> <p>3 生徒指導 小学4年生の痛ましい事件もあった。児童相談所、警察、教育委員会や学校が、情報共有を密にして、子どもの命を守ることが大切である。</p> <p>4 進路指導 就職、進学とも、しっかりとした出口指導をしていただいている。県外の就職が多いが、地域の企業等にも、目を向けて就職先を決定してほしい。</p> <p>5 その他 連携学習や商品開発など農業科が頑張っているのが今後も継続して地域活性化を行ってほしい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに目標を書かせ、掲示しているクラスもある。さらに、短いスパンで目標を立てさせ、それを達成させることで、充実感や自己肯定感を育んでいきたい。 ・主体的・対話的で深い学びであるアクティブラーニングを意識した授業を、全ての教科で取り組んでいる。しかし、そういった授業スタイルを「うるさい」と感じる生徒もいる。効果的な授業の更なる研究を全教員でしていく。 ・全校一斉教育相談や学期ごとの面談週間、悩みに関するアンケートの実施等、情報収集とその共有に努めているところである。さらに、教職員間の連絡を密にし、命を守る指導をしていきたい。 ・インターンシップや北辰キャリア講座を継続するとともに、今年から鬼北町と連携して始めた地元企業合同説明会を利用し、地域のよさを再確認させ、地域の就職先も新規開拓していきたい。 ・地域や行政と連携し、地域の問題や課題を掘り起こし、高校生の柔軟な発想や行動力で、地域活性化に取り組みたい。 	

